

JAIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

# キャリアのミカタ

2021.Feb Vol.11



Theme1

2月9日大学職員様向けセミナー

## 卒業間際～卒業後の就職支援に関して

Theme2

21卒アンケート調査結果

大学就職課に求められる支援とは

# 卒業間際～卒業後の就職支援に関して

2020年2月9日(火)に開催した「卒業間際～卒業後の就職支援に関して」をテーマとした大学職員様向けセミナーを開催しました。内容を一部ご紹介いたします。

## 【第一部 新卒支援に関して】

### ■学生の状況①

#### 年が明けて、あきらめムードの学生が増加？

右のグラフは、ジェイック新卒カレッジ®に登録している21卒学生に、毎月実施しているアンケートの結果です。「今後の就職活動をどのように進めていく予定ですか。」という問いに対して、「納得のいく内定を取得できなければ、卒業して、非正規雇用（アルバイト、派遣など）で働く」と回答した就活継続中の学生の比率が、12月の5.7%から1月は21.4%と、15.7ポイント高まりました。2月は15.1%と、1月よりも下がりましたが、昨年末と比べると高い比率となっています。

年が明けて卒業までの時間が残りわずかとなり、正社員以外の就職を選択しなければならぬかもしれないという危機感や現実味が増してきているようです。

### ■学生の状況②

#### 学生への不安感の解除と選考対策を

2020年12月に行った就活継続中の学生に対する調査で「卒業までにどんな支援を受けたいですか。」と聞いたところ、求人紹介や個別カウンセリングが上位にきました。一方で、不安に感じていることは何かという問いに対しては、内定取得への不安を除くと、「面接への手ごたえ」や「面接がうまくいかない」など、面接対策に不安を感じている学生が目立ちました。

新卒カレッジ®のWeb面接会に参加する学生の中にも面接未経験者や面接に苦手意識を持つ学生はいます。このような学生には、求人紹介を行うのももちろん良いですが、まずは、不安感の解除や選考対策を行って、自信を取り戻していただく必要があります。

### ■学生の状況③

#### 頭では分かっているが業界、業種切り替えは難しい

この時期になると、募集している業界や業種は限られてきます。加えて今年は、新型コロナウイルスの影響で、企業が採用活動を中止したり、採用枠を減らしたりしています。

業界や職種の幅を広げて就職活動をすることで、4月から正社員として働ける可能性が高まります。学生からは「もっと視野を広げておけばよかった」「たくさんの企業を調べておけばよかった」といった声を聞きますが、そうはいつでも、自分が知らない業界や職種について主体的に情報収集をすることは、頭では分かっているがなかなか難しいでしょう。就職課や就職エージェントが様々な選択肢を意図的に見せることが、学生の視野を広げるきっかけとなるかもしれません。

ご参考までに、今年度、就職支援をする中で多くみられる業界・職種切り替えは、「事務職志望→IT業界（SE職）」「BtoC（サービス業、接客）→BtoB」です。

### ■卒業までの内定取得のポイント

#### ①採用市場の正しい理解をする

卒業間際、さらに買い手市場の今、自分が置かれている現状を知ることが一番はじめに大切です。現状を正しく理解できるかどうかで、学生の意識やこれからの動き方が変わってきます。

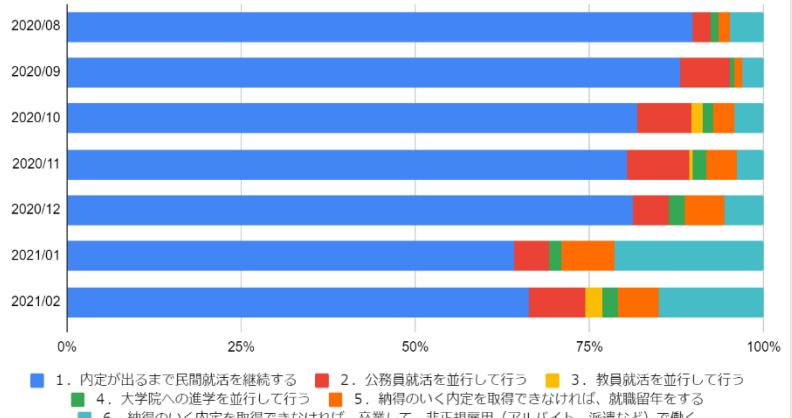
#### ②不安の解除+自信をつける

不安や自信のなさから面接パフォーマンスが下がったり就活を前向きに捉えられなかったりする学生がいます。研修やカウンセリングで背中を押してあげましょう。

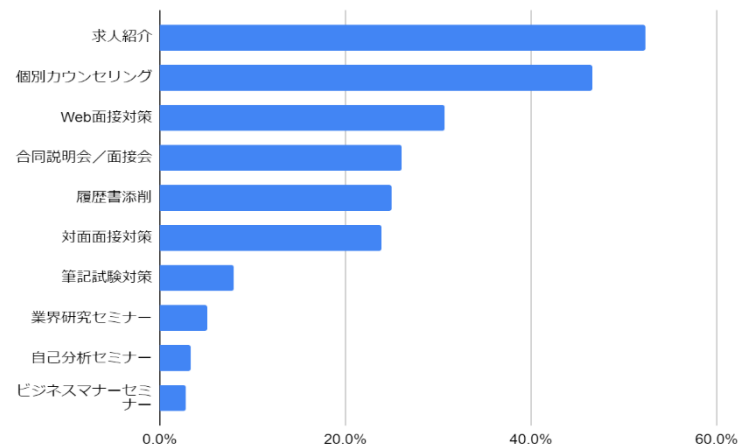
#### ③視野を広げる（面接実践・経験）

実際に面接を経験したり、様々な企業と出会うことで、学生の視野が広がります。学生だけでは見つけにくい企業との出会いや実践の場を作りましょう。

今後の就職活動をどのように進めていく予定ですか。



卒業までにどんな支援を受けたいですか。



### 内定取得のために必要な3つのポイント

#### ①採用市場の正しい理解

#### ②不安の解除+自信をつける

#### ③視野を広げる（面接実践・経験）

⇒上記を踏まえ、個別面談へ

## 【第二部 既卒支援に関して（卒業後の就職支援）】

株式会社ジェイックでは、既卒者の就職支援も行っています。特に20代の未経験者（フリーター）の就職支援は、15年以上の実績があります。前頁アンケートで「納得のいく内定を取得できなければ、卒業して、非正規雇用（アルバイト、派遣など）で働く」と回答した学生たちは、途中で正社員就職をしようとしたときに、どのような状況になるのでしょうか？第二部では、弊社で未経験者の支援を長年行っている、就職カレッジ®アドバイザーの高藤（たかとう）より、未経験者が中途就活をするときにぶつかる3つの壁についてご紹介しました。

### ■既卒就活の状況 新卒就活と既卒就活の内定率の差

「2019年度マイナビ 既卒者の就職活動に関する調査」によると、20卒の現役生の8月時点での内定率が82.6%だったのに対し、既卒でマイナビに登録している会員の同年内定保有率は43.3%でした。この結果からも、卒業後の就職活動がどれだけ大変かがわかります。

引用：2019年度マイナビ既卒者の就職活動に関する調査 <https://saponet.mynavi.jp/release/student/kisotsu/2019kisotsu/>

### ■壁1 就活情報やスキルの壁

既卒未経験者の就活は、中途採用市場での就活です。ですから、新卒の時にあった「インターン」「OBOG訪問」「就職フェア」「横のつながり」等がなかったり、作りにくかったりします。結果として、新卒の時以上に就活に関する情報を得づらくなります。

### ■壁2 企業の見目という壁

厚生労働省「フリーター等の活用についての調査研究報告書」によると、企業の採用優先順位は、新卒採用が一番高く、その次に正社員経験のある人、最後にフリーターという順番になっています。フリーターの採用優先度が低い理由は、応募要件に当てはまらないことが一番多いですが、フリーターに対するイメージや良くないことや、過去に採用したもののうまくいかなかった経験がある、といったことが影響している可能性があります。

既卒者・フリーターへのイメージについては、「新卒の時に就活がうまくいかなかったということは、計画力、思考力、行動力などの基礎力が乏しいのではないか？（能力の不安）」「仕事に対するモチベーションが低いのではないか？（意欲に対する不安）」といったような不安を感じて採用を控える企業もありますし、採用活動中の企業もそういった目で求職者を見ている可能性があります。

### ■壁3 中途入社扱いによる就職後の壁

せっかく就職ができて、正社員経験のある中途社員と同じ扱いになる会社では、入社後の環境によって、早期退職を招く可能性もあります。例えば、多くの会社が新卒採用の学生向けに用意している内定者研修や新入社員研修を、中途入社となる既卒者は受けることができなかったり、研修そのものがほとんどないままOJTで業務を覚えていく必要があったり、苦楽を共にする同期がいなかったりするなど、不安や不満を感じやすい環境になることも少なくありません。

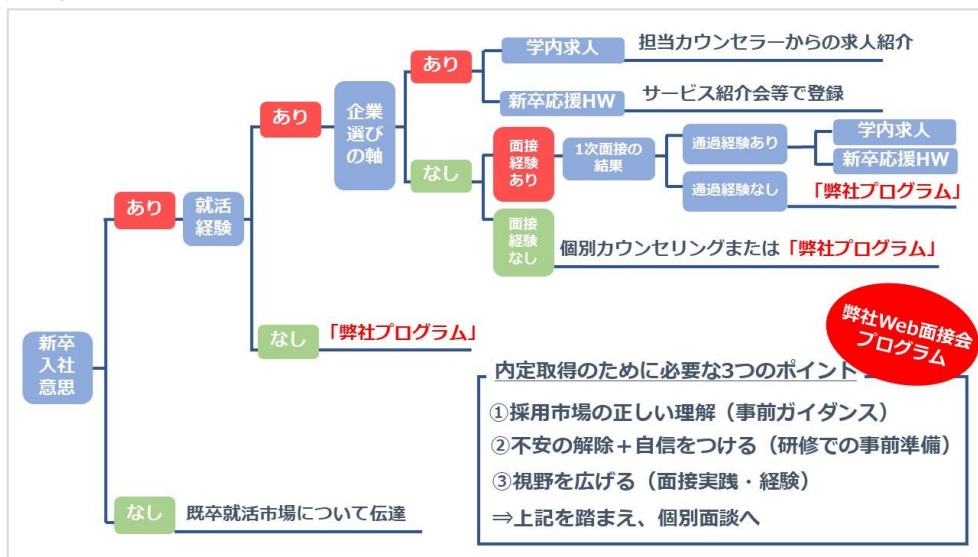
### ■ジェイックの就職カレッジ®は、3つの壁を乗り越える、定着活躍のプログラムです

ジェイック就職カレッジ®では、未経験のフリーターが3つの壁を乗り越えるためのプログラムを用意しています。就職カレッジ®では、5日間の集中講座で、社会人基礎力の体得、面接対策、就職後に定着・活躍するための教育プログラムを受講していただきます。そのうえで、弊社が厳選した、未経験のフリーターを採用することに理解のある企業と会える面接会を実施しています。5日間の講座では一緒に就活を頑張れる仲間ができ、また就職したあとも、ジェイックの定着サポートのチームが定期的にフォローを行うので、求職者にとっては、孤独になりづらいプログラムとなっています。詳細をご希望の場合は、裏面問い合わせ先までご連絡ください。

### ■卒業間際～卒業後の就職支援フローチャート

今回は、ジェイックの新卒支援、既卒支援を例に卒業間際の学生サポートに関してお伝えいたしました。就活継続中の学生の第一目標は、「4月1日新卒入社」であることは変わらないと思います。ぜひ、弊社Web面接会プログラムでもお力になれば幸いです。

また、既卒を視野に入れている学生には、しっかりと既卒就活市場を理解していただいた上で、既卒就活にチャレンジしていただければと思います。第二新卒での採用をしている企業は増えてきていますが、新卒に比べると就職が難しいことは確かです。未経験の20代支援は、15年の経験があります。お力になれることがございましたら、お気軽にご相談ください。



# 大学就職課に求められる支援とは

21卒学生を対象にした「就職活動の振り返りに関するアンケート」（回答数182名/2021年2月2日~6日実施）の結果をご紹介します。

## ■大学の就職支援課等から最も受けたい支援は「キャリアカウンセリング」

就職活動を振り返って、大学の就職支援課・キャリアセンターからどのような支援を受けられたら良かったか聞いたところ、「キャリアカウンセリング」14%、「個別求人紹介」13.2%、「自己分析セミナー」10.6%という結果となりました。

大学の就職支援課については、Webでのキャリアカウンセリングの対応状況が大学によって異なることから、本当は利用をしたかったが、Web対応していなかったり、面談予約が殺到して、予約ができなかったりした等、相談したいときにキャリアカウンセリングを利用することができなかったという可能性も考えられます。

また、今年度は、新型コロナの影響で、3年生の就職活動の動きが例年よりも早い時期から活発になっている印象です。より一層相談をしづらくなっているのかもしれません。

次いで多かったのが、求人紹介です。弊社のアンケートで、内定を取得していたり、最終選考に進んでいたりで就職活動を継続している学生は、28.4%です。ジェイックで開催しているWeb面接会に参加している学生の中にも、「内定は取得しているがもっと良い会社がないか探している」という学生が一部います。

## ■「もっと早く始めておけばよかった」の声が多数

「これまでの就職活動を振り返って、もっとこうしておけばよかったと思うことはありますか?」という問いに対して、多くの学生が「もっと早く始めておけばよかった」と回答しています。内容は、自己分析や企業研究など人によってさまざまでした。

一方で、アンケート回答者の半分弱は3月以前に就職活動を開始しています。就職活動を実際にやっけていって、事前準備の不足を感じたのかもしれません。また、「コロナで採用活動が止まったときに、もっと動いておけばよかった」という声もあり、自粛期間中の時間を有効に活用することができなかったという声も聞かれました。

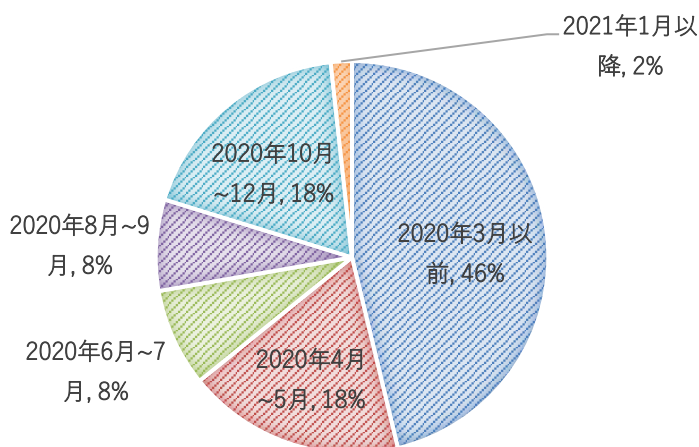
## ■就職課が情報発信元となり、学生の横のつながりを作るきっかけに

「就職を支援してくれる人と、はやく関係を持っていれば良かった。」「コロナ禍という状況もあり、大学からの情報をうまくキャッチアップできなかった。自分から動き出すという行動力が必要だと思った。」「友人との情報交換ができればよかった。」という声も寄せられました。急なオンライン化によって孤独に就職活動をした学生や、受け身の情報収集だけで、選考や対策等の機会を逃してしまった学生がいたようです。受け身な学生にも情報を届けるためには、支援側からの情報発信の数を増やすことが効果的かもしれません。また、就職課がハブとなって、学生たちが孤独にならない仕掛けを作っていくことも重要です。

Q.これまでの就職活動を振り返って、大学の就職支援課・キャリアセンターからどのような支援を受けられたら良かった(受けたい)と思いますか?(複数選択3つまで)

項目	回答数	割合
キャリアカウンセリング	53	14%
個別求人紹介	50	13%
自己分析セミナー	40	11%
合同説明会	39	10%
Web面接対策セミナー	33	9%
個別の面接対策(集合型ではない)	29	8%
企業研究セミナー	28	7%
業界研究セミナー	25	7%
職種研究セミナー	24	6%
OB・OG訪問	21	6%
インターンシップ	18	5%
対面面接対策セミナー	18	5%
合計	378	100%

## 就職活動はいつ頃始めましたか?



最後までご覧いただき、ありがとうございます。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、Webでの就職支援のご依頼を受けております。お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

キャリアのミカタ2月号アンケート  
<https://forms.gle/kT65FRVdsrj1FXgk8>

